

岡南こども園 自己評価報告書（令和6年度）

<評価> 十分できている：3 できている：2 努力が必要：1

評価項目	平均評価	振り返りと課題
1 基本項目		
1 教育・保育の基本(認定こども園教育・保育要領)を理解している。	1.9	◇園の教育・保育について、その都度確認、振り返りをしたい。 ◇職員同士がしっかりとコミュニケーションをとることが大切である。 ◇定期的な自己評価が必要。園の理念・方針に沿った保育を行いたい。 ◇自分自身の良さと課題を認識して日々で反映させていきたい。 ◇子どもたちの動線の確保。 ◇個に応じた家庭支援に取り組みたい。 ◇次の活動や保育者の配置を考えて行動する。 ◇教育・保育の基本をさらに学びたい。 ◇要配慮のお子さんへの正しい知識や対応方法を学び、理解したい。 ○子どもの利益を一番に考え、「子どもにとってどうなのか」ということを職員・保護者とともに大切にしたい。 ○意識的に新しい情報を収集したい。 ○様々な玩具や遊びに使えるような用具・材料を用意した。 ○保育の知識に偏りがないようにしたい。 ○喫緊の課題に取り組むよう努力した。 ○情報を発信していきたい。 ○専門書から学び、保育の質を高めたい。 ○三要領を振り返り返って確認したい。 ○計画をしっかりと立て、余裕をもって保育を行いたい。 ○定期的に自己評価を行い、自己理解を深めたい。
2 園の理念や教育・保育目標を理解している。	2.1	
3 園の全体的な計画を理解している。	2.0	
4 園の理念や方針に基づき、指導計画を立てている。	2.0	
5 定期的に自己評価をして、教育・保育の改善に努めている。	2.2	
6 教育・保育の計画や実践に向けて、創意工夫に努めている。	2.1	
7 自分の教育・保育の良さと課題を認識している。	1.9	
8 すぐにでも取り組まないといけない課題の改善に努力した。	2.1	
9 保育雑誌や専門書などを読んで教育・保育の情報を集めている。	2.0	
10 園の会議などで子どもの利益を一番に考えて発信している。	2.2	
11 業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。	2.8	
2 子どもとのかかわり		
【生命の保持・心の安定】		○成長や年齢に応じて理解し、接するよう心がけたい。 ○子ども一人一人のその時に合った対応をしていきたい。 ○子どもの友だちとの関りの中で、ボディランゲージを含めて仲立ちして伝えるように心がけた。 ○その子のみならず、お友だちの良さに気づけるようその時々褒めたり言葉がけをしたりした。 ○異年齢児との交流など、子どもの活動の幅を広げていきたい。 ○保護者の方に向けて感謝の気持ちを伝えるよう
12 ひとりひとりの発達を理解している。	2.3	
13 ひとりひとりの生理的欲求が満たされるように配慮している。	2.4	
14 登園時に優しく声をかけるなど、状況に応じて対応している。	2.7	
15 わかりやすい言葉で穏やかに話かけている。	2.5	
16 子どもが何を求めているのか、常に配慮して接している。	2.4	
17 子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。	2.5	
18 制止やせかす言葉を不必要に使わず、ひとりひとりに合わせた対応をしている。	2.2	
19 「あとで」などと待たせず、なるべくその場で対応している。	2.0	

【健康・安全】			言葉がけを行った。
20	食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組めるように配慮している。	2.4	○子どもの気づき・発見を大切にしたり関りを心がけた。
21	食事やおやつを楽しめる雰囲気づくりをしている。	2.5	○ルールのある集団遊びの機会を作るよう配慮した。
22	野菜を育てたり調理してくれた人への感謝の気持ちや命を大切に育てる気持ちを育んだりできるように働きかけている。	2.3	○子どものありのままの姿を受け入れ、否定しないようにした。
23	好き嫌いや食べ残しを直すために過度に叱らないよう配慮している。	2.7	○園外の人と関わる機会をどのように設けるか学んでいきたい。
24	トイレの後や食前の手洗い等、清潔にする習慣が身につくよう働きかけている。	2.6	○言葉の始めの時期の子どもには、特に丁寧な言葉遣いを心がけた。
25	体を動かすことを楽しむように働きかけている。	2.5	○発語を促すため、口元を見せて表情も伝えながら声をかけ、丁寧が日本語を心がけた。
26	危険を意識して行動するよう、安全について指導している。	2.4	○わかりやすい言葉や穏やかな話し方ができていたか反省する点がある。
【人とのかかわり】			○子どもたちが安心して過ごせるような関り方を意識していきたい。
27	友だちとの関わりで、友だちの良さや大切さに気付けるようにしている。	2.5	
28	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮している。	2.4	
29	順番を守るなどのルールが身につくように配慮している。	2.6	
30	活動を通して、共同の遊具や道具を大事にすることを体験できるようにしている。	2.4	
31	人と心が通じ合う喜びを伝えるように接している。	2.4	
32	異年齢の子どもと関わることを大切にしている。	2.1	
33	外国の人や文化の違う人に親しむ機会を作っている。	1.2	
34	地域の人や高齢者と親しむ機会を作っている。	1.4	
35	家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	2.3	
【表現活動】			
36	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会を作っている。	2.2	
37	感じたことや考えたことを自由に表現する機会を作っている。	2.2	
38	子どもが自由に歌ったり踊ったりすることを楽しめるようにしている。	2.3	
39	様々な素材や用具と接し、自分で工夫して遊べるようにしている。	2.2	
40	子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾るなどしている。	2.6	
【言葉】			
41	心のこもった挨拶をしている。	2.6	
42	正しく丁寧な言葉で話かけている。	2.5	
43	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を、相手の気持ちを大切にして指導している。	2.5	
44	わからないことを子どもが聞けるなど、安心して話ができる雰囲気を作っている。	2.4	
45	子どもが人前で話をする時に、相手にわかりやすく話せるよう援助している。	2.4	
46	読み聞かせの時に、言葉の楽しさなどが伝わるように配慮している。	2.4	

3 保育環境		
【環境作り～心地よい生活の場】		
47	常に公平で温かい態度や言葉づかいで子どもに接し、信頼関係を築くようにしている。	2.5
48	ひとりひとりが安心して過ごせる環境作りを心がけている。	2.6
49	保育室の温度や湿度、通風に配慮している。	2.5
50	適切な声の大きさと接している。	2.5
51	好きな遊びができる環境が整えられている。	2.3
52	自然との触れ合いを大切に心が豊かになるよう配慮している。	2.3
53	トイレや手洗い場を清潔に保っている。	2.7
54	遊具、おもちゃ、砂場などの点検、消毒を定期的に行っている。	2.4
55	必要な場所に転倒防止策をしている。	2.4
56	不審者などの侵入を防ぐ対策をしている。	2.0
【環境づくり～成長を促す】		
57	発達に合ったおもちゃや遊具を用意している。	2.5
58	子どもの動線を考えて、遊具や用具を配置している。	2.3
59	子どもが身近な動植物に触れ合う機会を作っている。	2.1
60	ひとりひとりの興味に合わせて好きな遊びが出来るようにしている。	2.2
61	園外保育で、公共機関などを利用し地域に興味を持てるようにしている。	1.9
62	伝統的な行事を生活の中に取り入れている。	2.2
63	日常的な生活や環境の中で、標識や文字に関心を持つ工夫をしている。	2.1
4 保護者とのかかわり		
【情報の発信と受信】		
64	教育・保育の方針や内容を保護者にわかりやすく説明している。	1.7
65	個々の家庭の養育方針を理解している。	1.9
66	必要に応じて、保護者との個別面談を行っている。	2.4
67	緊急時は電話などで迅速な連絡を行っている。	2.7
【支援】		
68	家庭と協力して、子どもが健康的な生活リズムを見に付けられるようにしている。	2.3
69	子どもの育ちの過程を伝え合い、共通理解に努めている。	2.4
70	悩みや不安を話せるように心を開いて対応している。	2.5
71	保護者の保育参加等、子育てについて共通理解を得るための機会を設けている。	2.1
【マナー】		
72	すべての保護者に対して、親しみを込めた挨拶や会話をするように心がけている。	2.7
73	丁寧な言葉や敬語を使っている。	2.6
74	子どもの体調不良等の連絡時の伝達方法に配慮している。	2.7
75	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	2.6
<p>○遊具を片付けやすくしたい。もっとモノを減らす。決まったところに片づける。</p> <p>○安全・安心して過ごせるよう職員間で声かけをしていきたい。</p> <p>○子どもの興味・発達に合わせた遊びなどを考えていきたい。</p> <p>○秋から冬にかけて、自然と触れ合う機会を積極的に作る事ができた。</p> <p>○引き続き、職員間で相談しながら環境を考えたり子どもの動線を考えて配置したりしていきたい。</p> <p>○季節や発達に合わせた玩具を用意したい。</p> <p>○もっと外に出て、地域と関わったり、公共機関を利用した活動を行いたい。</p> <p>○危険な場所にモノを置かないよう、職員間で置き場所を考えるようにした。</p> <p>○助産師から学んだマッサージが月齢の低い子どもの動きの促しに効果的であることがわかった。</p> <p>○個々の家庭の養育方針を知る機会がない。</p> <p>○保護者の方に丁寧に寄り添い、信頼関係が築けるよう心がけたい。</p> <p>○全ての保護者に親しみを込めた挨拶や会話をするように心がけている。</p> <p>○園での生活や行動の様子をしっかりと伝えることで家庭にもつながり、子どもの成長につながっていると思う。</p> <p>○保護者への支援にも配慮し、声をかけやすい雰囲気づくりを心がけたい。</p> <p>○就学前の不安感を保護者の方から聞いたり、小学校と連携して面談を行ったりした。</p> <p>○保護者のかたからの相談などにしっかり寄り添うよう心がけた。</p> <p>○相談を気軽にしてくださる方が増え、アドバイスをしたことで次につながり、やりがいを感じた。</p>		

5 ほかの保育者とのかかわり			
【良好な関係と協働性】		<p>○職員の家庭の状況に対応したいが、人的・時間的・体力的に難しいことも多く、限界がある。</p> <p>○互いに信頼できるよう、まず自分自身の努力が必要である。</p> <p>○互いに助け合い、目標に向かっていけるようにしたい。</p> <p>○職員それぞれに見方があり、気づかされることが多い。互いに話す機会を大切にしたい。</p> <p>○些細なことでも職員間で共有することで、改善・協力することができた。</p>	
76	園長、副園長、主幹、副主幹、リーダー、同僚等を尊重し、良好な関係を築いている。		2.5
77	園長、副園長、主幹、副主幹、リーダー、同僚等の言葉を素直な気持ちで受け入れている。		2.5
78	報告や連絡、相談をするよう心がけている。		2.6
79	互いの状況や役割を理解し、協力や援助をしている。		2.3
80	園が目指す目標に向けて互いに協力している。		2.3
【向上】		<p>○課題点などを職員間で明確にし、改善に向けて意見を出し合っていきたい。</p> <p>○行事にあたっては、様々な状況を想定し、話し合いを重ねることでスムーズに実施することができた。</p> <p>○クラス内で定期的に話し合いをすることで、スムーズなクラス運営を行うことができた。</p> <p>○積極的に質問したり、アドバイスを求めたりすることでより良い保育ができるようにしたい。</p> <p>○行事の指導案等をすべての職員間でしっかり共有することが重要である。</p> <p>○その月の仏教徳目を大切に過ごすよう心がけた。</p> <p>○職員が互いに心を開いて付き合っていくことが大切だと思う。</p> <p>○良好な職員関係の中で保育を行うことができた。</p>	
81	自己評価をもとに、職員間で教育・保育内容に対話を重ねている。		2.0
82	教育・保育の良さや課題を話し合っ明確認にし、見直しや改善につなげている。		2.3
83	研修などを通して、互いに知識や技術の習得を図っている。		2.0
84	子育て支援や地域開放、地域連携のあり方について、職員間で話し合っている。		1.6
<p>□研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間研修回数 ：外部研修 29回（オンラインを含む）、内部研修 13回 ・受講人数（延べ）： 56名（外部研修のみ） ・その他、キャリアアップ研修等受講 			